

日本循環器病予防学会誌投稿規定

1. 地域、職域などにおける循環器疾患の管理に役立つ循環器疾患の成因、病態、あるいは予防、治療、リハビリテーション、あるいは組織体制などに関する論文を掲載する。
2. 編集委員会は、必要に応じて、原稿執筆を依頼することがある。
3. 投稿原稿の筆頭著者は、会員でなければならない。
4. 依頼原稿、投稿原稿とも、編集委員会によってレビューされ、内容の変更が求められる場合もある。
5. 本誌掲載論文の著作権は、社団法人日本循環器管理研究協議会に所属する。
6. 次のような論文を歓迎する。
論壇、総説、解説、原著論文、短報、調査報告、症例報告、資料、質疑応答(Q&A)、会員の声など
7. 論壇、総説、解説、質疑応答、会員の声などについては、特に形式を定めない。
ただし、原著論文、短報、調査報告、症例報告、資料論文の構成は原則として次のとおりとする。
要約、キーワード(6個以内)
I 緒言、II 方法、III 結果、IV 考察、文献
8. 制限頁数を8頁(17,000字、図表を含む；図表は1枚につき400字と換算)とする。
制限頁数8頁を越える場合、超過料金は著者負担とする。
9. たとえ、依頼原稿であっても、執筆料は支払われない。
10. 別刷30部は無料とする。
11. 原稿の執筆要領
 - 1) 原則としてワードプロセッサを使用し、A4版の用紙に横書きで25字×32行(800字)で印字する。
 - 2) 図、表、写真は、図1、表1、写真1などと番号と表題をつけ、本文とは別にまとめておき、本文原稿の欄外に、それぞれ挿入希望位置を赤字で指定する。図、写真は、そのまま印刷にまわすので、手札判(縦10.8cm×横8.25cm)の大ききで作成する。ただし、印刷に耐えない場合は、印刷所で改めて作成されるが、その実費(トレース代)は著者負担とする。図表および写真には必ず説明を入れ、なるべく日本語で記載すること。
 - 3) 原稿には表紙をつけ、表題、著者名、所属機関、論文枚数、図・表・写真の数、原稿の種類(6.参照)、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項、連絡者の住所、電話、氏名を付記する。
 - 4) 原著論文、短報、調査報告、症例報告には英文抄録*をつけることができる(原著論文は必須)。英文抄録をつける場合は、別紙に表題、著者名、所属機関、抄録(250語程度)、キーワード(6個以内)をダブルスペースでタイプする。
様式は、既報のものを参照されたい。
※ 英文抄録をつけると、国際雑誌などに引用される

ことがある。

5) 文献記載の様式

- (1) 文献は本文の引用箇所の肩に1)、1)～5)などの番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。文献の著者が3人までは全員、4人以上の場合は3人目までを挙げ、4人目以降は省略して、—, 他(英文は、—, et al)とする。
- (2) 雑誌などの略名は、邦文誌は日本医学雑誌略名表(日本医学図書協会編)に、欧文誌はIndex Medicusに従って記載する(なお、雑誌所定のものがあればこれを用いる)。
- (3) 記載方法は、最近の国際慣例により下記の例示に従う。
 - ① 雑誌の場合
 - 1) 三浦久美子, 宮田陽子, 島林慶子, 他. 「薬に頼らずコレステロールを下げよう教室」の取り組みについて. 日本循環器管理研究協議会雑誌, 1997; 31: 224-7.
 - 2) Ueshima H, Mikawa K, Baba S, et al. Effect of reduced alcohol consumption on blood pressure in untreated hypertensive men. Hypertension 1993; 21: 248-252.
 - ② 単行本の場合
 - 3) 厚生省保健医療局健康栄養増進課. 健康づくりのための食生活指針. 東京: 第一出版, 1987; 15-17.
 - 4) Francis RB. Atherosclerotic cardiovascular disease, homeostasis, and endothelial function. New York: Marce Dekker 1992: 183-236.
 - ③ 訳本の場合
 - 5) Last JM. A Dictionary of Epidemiology. Oxford University Press 1983; 重松逸造, 春日斉, 柳川洋訳, 疫学辞典, 東京: 日本公衆衛生協会, 1987; 60-61.
12. 校正
初校は著者が原稿の控えを用いて行う。ただし、校正の際の加筆は認めない。二校以降は著者校に基づいて、日循協事務局が行う。
13. 原稿は表紙、本文、図表、写真、英文抄録など全てプリントアウト(正1部、副1部の計2部)し、データを保存したメディア(CD-R、USBメモリー、FD等)を併せて送付のこと。なお、E-mail、FAXによる投稿は認めない。
14. 原稿送付先
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-48-10
25山京ビル305号
社団法人 日本循環器管理研究協議会事務局
TEL 03-3989-0680, FAX 03-3989-0953